

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番
〒320-8686

下野新聞社

電話 028-625-1111

郵便振替口座00350-0-40

©下野新聞社2007

読者室 028-625-117

(受付・午前10時～午後6時)

編集局 028-625-112

販売局 028-625-112

広告局 028-625-113

事業局 028-625-113


http://www.shimotsuke.co.jp

「下野新聞Plus」パスワード

96dhji

下野新聞購読お申し込み

☎0120-81008



Chopard
JEWELER
CHINO
ジュエラーチノ
宇都宮市大通り大工町バス停
TEL 028-632-3057
http://www.chino-jc.jp

きょうの天気

	朝	昼	夜
那須	☀	☀	🌙
	0	0	10
那須塩原	☀	☀	🌙
	0	0	10

大谷特区実現へ条件変更

申請に全自治会同意不要

宇都宮市長方針

佐藤栄一宇都宮市長は二十五日の定例会見で、大谷採石場跡地を溶融スラグで埋め戻す構造改革特区計画について、国への申請条件とした「大谷六自治会の同意」を見直し、必ずしもすべての自治会の同意を必要としない方針を明らかにした。市はすでに「六自治会の同意が得られない」ことを理由に国への特区最終申請を見送っているが、通常国会で申請期限が五年延長される可能性もある。佐藤市長が新たな方針を示したことで、大谷特区計画は大きく前進する一方、反対派自治会の反発も予想される。

守った。反対派は代替案を出してほしい。行政もこれまで以上に積極的に説明を続けるべきだ。佐藤市長の方針変更について申請提案団体の住

民組織「大谷創生協議会」の鶴見清会長は「われわれはすでに議論を尽くし、市に申請提案したので、条件を変えるかどうかは市の判断。見守っていかないと話した。一方、反対派住民の萩原宏之さん(立岩自治会)は「申請見送りで安心したが、すぐに市長が方針変更したのは残念だ。もっと反対派の意向を尊重してほしい」と話している。特区申請をめぐるのは大谷六自治会のうち、瓦

計画前進 反対派反発も

市はこれまで国への申請との繰り返しになる」と考えれば、一年という時間で佐藤市長は「(最終申請の見送り)約束事を」

い」と話した。さらに、予想される反対派自治会の反発について佐藤市長は「(最終申請の見送り)約束事を」

佐藤市長は申請条件の変更について「六自治会の同意は完全に見直す。六自治会の同意という条件を変えなければ、(申請見送り)同じ」